

平成22年8月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	48,621,899 万円	100.0%	102.1% (101.6%)	46,613,374 万円	98.7% (98.7%)
食 料 品	40,384,213 万円	83.1% (82.1%)	102.6% (102.0%)	38,676,307 万円	99.1% (99.0%)
農 産	6,006,220 万円	12.3% (11.6%)	104.0% (103.9%)	5,771,124 万円	100.7% (100.9%)
水 産	3,925,071 万円	8.1% (8.4%)	98.8% (99.2%)	3,746,709 万円	95.2% (96.3%)
畜 産	4,316,746 万円	8.9% (9.0%)	99.5% (99.9%)	4,123,647 万円	96.1% (96.5%)
惣 菜	4,378,836 万円	9.0% (8.4%)	104.1% (103.7%)	4,189,026 万円	100.5% (100.2%)
日配食品	9,080,912 万円	18.7% (18.8%)	104.2% (103.2%)	8,698,182 万円	100.5% (100.1%)
加工食品	12,676,428 万円	26.1% (25.9%)	102.6% (101.6%)	12,147,619 万円	99.1% (98.6%)
生活関連	3,593,669 万円	7.4% (7.6%)	100.0% (100.8%)	3,452,661 万円	97.4% (98.2%)
衣 料 品	1,651,026 万円	3.4% (4.1%)	95.7% (95.2%)	1,601,129 万円	94.3% (93.3%)
そ の 他	2,992,991 万円	6.1% (6.2%)	101.2% (101.8%)	2,883,277 万円	98.6% (99.3%)

② 数 値

全店総売上高	48,621,899 万円	店 舗 数	4,022 店舗
総売場面積	7,621,722.4 m ²	総従業員数	223,269 人

店舗平均月商	12,089 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,829 円 (102.6%)
月間m ² 売上(前月)	6.4 万円 (6.1 万円)	平均店舗面積	1,895.0 m ²
月間坪売上(前月)	21.1 万円 (20.2 万円)	パート比率(前月)	76.7% (75.8%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・猛暑の影響で夏物商材の売上が好調だったことから上向くかと思われたが、全体を大きく押し上げられなかった
- ・日中の気温が高く来店頻度が落ち、朝の開店時、夜の7時から8時台の売上が伸長した
- ・近年悩まされたゲリラ雷雨の頻度も減少し、台風の発生も少なく天候面で恵まれた8月であった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・全体的に相場高で品質も不安定であったが、高値推移にも拘わらず、サラダ商材・炒め商材の動向が良かった。反面、土物の動きが悪かった
- ・スイカは猛暑の影響で、1玉売り・カット売りともに好調だった
- ・果物は、桃・ぶどう・メロン等の旬果実が好調だったが、梨は食味が悪く甘みが少なく苦戦した

○ 水産

- ・旬の生さんまは、海水温の上昇により水揚げが少なく、相場高で推移した為に例年の5割減の売上になった
- ・猛暑でスタミナ商材のうなぎ蒲焼は、土用の丑の日以降も引き続き好調だった
- ・刺身、干物、魚卵が好調、また猛暑の影響から生食サラダ、スモークサーモンも好調だった

○ 畜産

- ・猛暑が続いたことで、行楽等の減少から焼肉・バーベキュー商材が不振だった
- ・牛肉、豚肉ともに、主力の切り落としが好調だった
- ・加工肉では、ハム・ベーコンは好調だったが、ウィンナー・ハンバーグ等の加熱調理品が敬遠された

○ 惣菜

- ・ 猛暑による家庭における調理時間の減少により、ほとんどの分類で大幅に伸長した
- ・ 猛暑が続き、ビールのおつまみとして枝豆、焼き鳥、ギョウザが好調だった
- ・ 主力の弁当・天ぷらが好調に推移し売上を伸ばした

○ 日配・加工食品

- ・ 猛暑により、飲料・アイス・氷・氷菓・ところてん・冷やし中華等が好調だった
- ・ 7月に引き続き、そうめん・冷麦を中心とした乾麺、麺つゆ類が好調だった
- ・ 酒類が好調、中でもビールは新ジャンル・ノンアルコールを中心に好調だった

○ 「お盆商戦」

- ・ 旧盆期間中は、昨年と比べ休日1日減や土日のみのE T C割引の影響により、客数・売上ともに厳しい状況だった
- ・ 盆花は、猛暑の影響で花が早く育ち過ぎ市場の出回りが少なかったが、店売りは好調だった

○ 「猛暑」

- ・ 気温の上昇により、盛夏商材のアイス・飲料・スイカ等は集荷が追いつかずチャンスロスが発生した
- ・ 気温の高い11時から18時ごろの客数が減少し、陽の落ちた19時から客数が増加した。特に徒歩・自転車の高齢者の来店頻度が落ちた
- ・ 「熱中症予防対策」として、スポーツドリンク・梅干しが好調だった

○ 「サマーギフト」

- ・ 猛暑の影響でビールギフトが好調に推移した。特にプレミアムビールギフトが好調だった
- ・ 調味料ギフトが不振。エコナギフトがなかった影響は大きかった